

## 三鷹市立高山小学校 令和5年度【 道徳 】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>○本時のねらいや価値を板書し明確にした。思考の視点をはっきりと提示することで、児童の発言が増え、授業が活発になった。</p> <p>○話し合い活動の方法を工夫することで、自分の意見や考えだけでなく、他者の意見にも耳を傾ける姿が見られた。</p> <p>○場面絵を黒板に提示し、登場人物の心情や心の変化についてより深く考えさせることができた。</p>	<p>○内容の読み取りになってしまっていることがあり、日常生活に学習内容を落とし込めていない児童が見られた。</p> <p>○場面絵を黒板に提示することで、その場面の様子や登場人物の気持ちについて考えることができた。</p> <p>○自分の考えを積極的に発表することができていた。</p>	<p>○導入部で価値項目にかかわる日常の振り返りを行い、終末部で日常の振り返りに触れて実践意欲を高められるようにする。</p> <p>○自分の意見を表現しやすいワークシートを活用する。</p> <p>○話し合いを通して考えを交流し、自分の考え以外の考えにも触れ、価値項目について考えを深める。</p>
第2学年	<p>○ワークシートは作成したものを活用することで、より内容項目に迫ることができ、終末部で日常の振り返りを行い、児童の考えを深めることができた。</p> <p>○ペアやグループでの話し合いを通して内容項目に迫るとともに、より児童自身に落とし込むことができた。</p> <p>○本時のねらいや内容項目を明確に板書し、児童の思考の補助をし、考えを深めることができた。</p>	<p>○自分の考えを積極的に発表することができていた。</p> <p>○ワークシートに自分の考えを文章で記述するのに時間がかかってしまい、展開で深めることができていない。</p> <p>○内容の読み取りになってしまっていることがあり、児童の日常生活に学習内容を落とし込めていない。</p>	<p>○内容項目に迫る発問に絞って書かせるようにワークシートを工夫する。</p> <p>○話し合いを中心に内容項目に迫れるような展開の工夫をする。</p> <p>○話すことが苦手な児童も話し合いに参加できるように、ペアやグループ活動も適宜取り入れる。</p> <p>○導入部で内容項目にかかわる日常の振り返りを行い、終末部で日常の振り返りに触れて実践意欲を高められるようにする。</p> <p>○引き続きICTを活用し、話し合い活動を活発できるように工夫する。</p>
第3学年	<p>○中心発問までの教材の流れをイラストを使いながら板書したり、記述しやすいワークシートの作成をすることができた。</p> <p>○振り返りの時間後に、教師の読話やクラスでの共有時間を設定することで、価値を広げようとすることができた。</p> <p>○振り返りのワークシートの活用をすることで、振り返りやすくなった。</p>	<p>○児童や学級の実態に合わせて内容項目を選択している。</p> <p>○ワークシートを工夫して、考えるべきことが明確になるようにしている。</p> <p>○児童の日常生活を振り返る発問をしたり、経験したことを具体的に考えたりしながら、価値を深めることができるようワークシートに自分のこれからの考えを記述させている。授業の中で思考が生活に生かされることが難しい児童もいるので、授業だけでなく様々な場面で考えさせる必要がある。</p> <p>○授業の最後には自身の授業の振り返りをさせ、次の授業に生かしていくことができるよう自己評価を付けさせている。</p>	<p>○児童や学級の実態を把握して、学級目標等と照らし合わせながら内容項目を選択する。</p> <p>○登場人物の気持ちや行動を想像しやすいイラストを用いたり、状況に応じてタブレットを活用する。</p> <p>○振り返りの時間後に、教師の読話やクラスでの共有時間を設定することで、価値を広げることができるようにする。</p> <p>○振り返る視点を提示したワークシートの活用をすることで、振り返りやすくなる。</p>
第4学年	<p>○本時のねらいや考えさせたい価値項目を明確にした上で黒板に書いて提示することで、児童の思考を補助し、価値項目について考えを深めることができた。</p> <p>○ワークシートを工夫し、記入する時間を確保することで、児童が自分の考えを深められるようになった。</p> <p>○道徳的価値についての話し合いや意見交換の場を取り入れることで、自身の考えを表現する場ができ、どの児童も価値について自分なりに考えを深められるようになった。</p>	<p>○道徳の時間では、各時間の価値項目に対し、自分の生活を振り返りながら内容について考えることができるように、導入時に価値項目を明確にしている。</p> <p>○自分の考えを伝える場を設けるために、タブレットを活用している。</p> <p>○ワークシートを活用することで、自分の考えを整理することができるようになった。しかし、自ら挙手をして、意見交換ができる児童は少ない。</p>	<p>○本時のねらいとする価値項目について明確に板書し、思考の視点がはっきりするようにする。</p> <p>○日頃の生活を振り返る時間を十分に確保することで、自分自身を見つめ直せるようにする。また、振り返る視点を提示することで、振り返りやすくする。</p> <p>○ペアトークを多く取り入れたり、友達との振り返りを共有したりすることで自分自身の生活を客観的に振り返ることができるようにする。</p> <p>○話し合いや発表の時間を設定したり、タブレットを活用したりすることで、自分の考えを言葉で表現できるようにする。</p>
第5学年	<p>○本時のねらいとする価値を明確にすることにより、より主体的で深い学びとなった。</p> <p>○自分の意見を考える時間の十分な確保やペアトークを取り入れることにより、しっかりと考えをもつことにつながった。</p> <p>○振り返りにおいては、振り返る視点を設定することにより、自分自身を見つめ直し、今後についても考えることができた。</p>	<p>○道徳の授業開きでは、道徳科の目標や目指す授業の在り方についておさえ、各時間の価値項目を意識した授業を行っている。</p> <p>○授業の中では、他の児童と話し合う活動を多く取り入れ、多様な価値観に触れることができるようにしている。</p> <p>○ワークシートを活用して、効率的に各授業の振り返りができるようにするとともに、それらをポートフォリオ形式で保存していくことで、児童自身が自分のことを振り返ることができるようになっている。</p> <p>○話し合いだけでなく、動作化やネームプレート黒板に貼るなど、多様な表現方法を取り入れ、児童が自分の考えを表現することができるようにしている。</p>	<p>○本時のねらいとする価値について明確に板書し、思考の視点がはっきりするようにする。</p> <p>○ペアトークを多く取り入れ、表現する機会と多様な価値観に触れる機会を多く確保する。</p> <p>○振り返りの時間を十分に確保することで、自分自身を見つめ直せるようにする。また、振り返る視点を提示することで、振り返りやすくする。</p> <p>○より思考を深めるために、各教科や行事等と照らし合わせて、カリキュラム・マネジメントを行い、時節や活動に即した指導を行う。</p>
第6学年	<p>○児童の実態・現状・行事等を踏まえた教材・価値項目を選択することで、より主体的に学習に取り組める児童が増えた。</p> <p>○話し合いや意見交換の場を取り入れることで、様々な見方・考え方を取り入れるきっかけとなった。</p> <p>○自分自身の行動・考えを振り返る時間を確保することで、各々の課題を見出し、日々の生活の中で生かそうとする児童が増えてきた。</p>	<p>○道徳の時間では、各時間の内容項目に対し、しっかりと考え、ワークシートにまとめている。</p> <p>○自分の考えを分かりやすくまとめたり、考えたことを積極的に発言したりする児童がいる。</p> <p>○ペアやグループでは積極的に話し合い活動を行っているが、全体での話し合いとなると、発言する児童が固定化されてしまう。</p> <p>○自分自身の生活を振り返ったり、実生活に生かそうとしたりすることができる児童がいる一方、振り返ることができない児童がいる。</p>	<p>○児童の実態・現状・行事等を踏まえた導入を考え、より効果が向上するよう授業を設定する。</p> <p>○児童が考えたいことを取り入れつつ発問を構成し、より主体的に道徳的価値について考えられるようにする。</p> <p>○道徳的価値について多面的に考えられるよう、話し合いや意見交換の場を取り入れ、見方・考え方が深められる授業形態の工夫をする。</p> <p>○振り返る視点を設定することで、自分自身の行動・考えを振り返り、各々の課題を見出し、日々の生活の中で生かせるようにする。</p> <p>○振り返りの内容を共有することで、より良い振り返り方を知る機会を設ける。</p>